

今日はスポンサークラブの牧野会長おいでくださり、ありがとうございます。また、地区の希望の風委員会の「松坂委員長」も卓話の講師としてお見えでございます。地区日韓友好特別委員長の今井さんは、韓国で韓国語をしゃべれない私や豊田副会長になりかわり通訳等お世話になり、ありがとうございます。それでは第30回目の例会を始めさせていただきます。

私は、先週月火水、木金とロータリー活動の毎日でした。金土は韓国へ、空を飛び、海を渡り、そしてソウル南山ロータリークラブの例会に出席して、前立腺肥大症の予防と治療に行っていました。日本に帰りましてNHKでも番組を放送があり、前立腺というのは男性だけで、女性はないのですね。要するにチョコチョコ尿になると黄色信号・赤信号になり、勢いよく、たっぷりと出ることが健康の秘訣であると報道していました。放尿時間が長く、少ししか出ないとまず間違いなく病気の予兆であるというふうに考えていただければよいと思います。

韓国では1,000人くらいの患者さんを10人くらいのお医者さんが診ていらっしゃる、想像したよりはるかにビックな奉仕活動であると感じ入った次第であります。2580地区でもあのようなお医者さん、患者さんを集めてやるようなビッグ医療奉仕活動はまず例がないような気がします。

どこかの団体が「献血活動」をやっておりますが、あの10倍以上の奉仕活動であったと思います。貴重な経験をいたしましたので、来年は皆さんで是非行っていただいて「世界のロータリー」を見ていただきたいと思っております。

日曜日のイベントも大変盛り上がりまして、バンドも7バンド、160名くらいの方が出品、出演なさいまして立派に演奏されました。池田さん、流郷さんもパンとかクッキーの販売で大変活躍されておりました。新宿区の公園管理部の責任者や吉住区長も非常に感謝していらっしゃいました。引き続きこういう事業をやってまいりたいと思います。

それから10月末現在、当クラブは名誉会員を含め会員数60名となりました。7月1日に44名で出発したのですが、もう少しで50%の増強となります。地区の偉い方といいますかベテランの方は、「増やすこともやりなさい」、「お勉強もしなさい」と、非常に欲張りな方が多いものですから、我々は多忙なところで苦しんでいるわけです。まるで「オリンピックで金メダル」を取って、かたや「ノーベル賞」も取りなさいというようなもので、そういうことは「二芸に秀でる天才」でないと不可能であると思います。それでもこれに挑戦し、努力をするのが「東京御苑ロータリークラブ」であります。

「職業奉仕」の話も「会員増強」より「職業奉仕」のほうが大事なのだと言う方がいらっしゃいますが、私はそうは思いません。「職業奉仕」・人に社会に喜ばれる仕事をしているからこそ、お金を稼げるのであって、そのお金が少し余っているからこそロータリーにも入会出来る。また、それ以上のお金があるからこそ米山・R財団寄付や希望の風の寄付という「奉仕」ができるのではないかと思います。

「職業奉仕」ができていない人は、最初からロータリーに入る資格がないのです。岡村さんみたいに年金をあちらこちらから沢山もらっている方は別格です。退職金も1億何千万円もらって、証券や株も沢山持っておられる方は、定年まで大変なお仕事をやられた功績があるからこそ、ゆったりとしたロータリーライフを送られるのではないかと思います。

どちらにいたしましても、やはり永年やってこられた「職業奉仕」のおかげで、ロータリーの会員として「奉仕」ができるのだと思います。「職業奉仕」はロータリーの会員として、過去、現在問わず当然のことだと思います。我々はその「職業奉仕」を超えてロータリーの会員となり、「国際奉仕」、「社会奉仕」、「青少年奉仕」をやっていくという力を発揮しないとイケないと思うのでございます。

「増強」を疎かにすれば社会に淘汰されるし、「増強あらずんば、会員にあらず」というようなお気持ちを持って頂きたいと思います。とにかく人に会えば、ロータリーの社会普及を説き明かしてもらいたいと思います。ロータリーの輝く光のバッヂもそうでしょうし、街を歩いてもそうです。バッヂを見るだけで信頼感と友情がわいてくるというのが私の人生でもあるのです。

皆さんにも是非そういうお気持ちになっていただいて、人を見ればまず例会に誘っていただく。そしてロータリーの仲間になっていただく。そういうふうにお仕事以外の時間を是非お使いになっていただきたいと思います。そうすれば私共も今は60名を超えたロータリークラブですが、いずれ70人・80人、そして100人へと、この半年のうちに必ずなっていくわけでございます。

そういうときにお仕事の話があれば佐藤さんにまず電話する。冷蔵庫を買いたいと思えば片岡さんに電話する。旅行に行きたい、芸能活動を目指したいと思えば劉さんにお願いする。お酒を、お食事をしたいと思えば村上まりさん・鄭さんにお願いすればいいわけです。なるべくクラブ内の税理士さん、司法書士さんや若き弁護士さんである茨木さんとか、困ったときにはまず第一に仲間に仕事の相談をする。そしてどうしてもそういう方がいらっしゃらない場合、例えばクラブには歯医者さんとかお医者さんがいらっしゃらないですから、先週卓話をしていただいた神田ロータリーの黒田さんに歯の治療をしていただくわけです。

とにかくクラブメンバーのお仕事をお互いに大事にして情報交換する。そしてそれに応え「職業奉仕」をしていく。そして「会員増強」を成し遂げ、光輝くロータリーライフを過ごしていただいて、友情の花を咲かせていただきたいと思います。以上でございます。